

新潟学コース

「開港 150 周年記念 開港都市に選ばれた「新潟」ーその歴史と魅力ー」

1 趣 旨

新潟は函館・横浜・神戸・長崎と共に、安政五カ国条約によって開港地に指定され、明治元年に開港しました。なぜ、新潟は開港5港の一つに選ばれたのでしょうか？本講座では、開港都市に選ばれてからに至るまでの新潟、そしてその後の新潟を様々な切り口から検証し、「新潟」を浮き彫りにします。なお、本講座は市民提案講座のご提案内容を一部反映しています。

2 学習方法

前期 講義 後期 ゼミナール 等

3 希望曜日・時間

木 曜日 午後 7 時 ～ 午後 9 時

4 講座コーディネーター

新潟大学人文学部教授 原 直史／新潟市歴史博物館副館長 伊東 祐之

5 プログラム・指導講師

回	月 日	テーマ	内 容	講 師
1	/	「開港前夜の新潟」 ～江戸時代の新潟～	開港前夜となる江戸時代の「新潟」はどんな様子だったのでしょうか。我々の先祖が暮らした江戸時代の「新潟」へタイムトリップします。	新潟大学人文学部 教授 原 直史
2	/	「北前船」が運んだもの① ～板子一枚下は地獄～	江戸中期から明治中頃まで、蝦夷(北海道)と大阪の間を、結ぶ日本海航路に就航した廻船の北前船。各地に大きな影響を与えた「北前船」の概要を学びます。	新潟大学人文学部 教授 原 直史
3	/	「北前船」が運んだもの②	北前船最大の寄港地であった新潟。商品のみならず、北前船によって、様々な文化がもたらされました。豪商と料亭文化と花柳界などを概観します。	新潟市歴史博物館 副館長 伊東 祐之
4	/	「北前船」が運んだもの③ ～まつりと「新潟」～	まつりの歴史を紐解くと、そのまちの歴史が見えてきます。海の安全を祈り、田の収穫を祝う「新潟」の祭りの歴史を通し、新潟を見つめ直します。	新潟市歴史博物館 学芸員 渡邊 久美子
5	/	「開港5港」に選ばれた新潟	新潟が開港5港であったことは、あまり知られていないのではないのでしょうか？なぜ新潟が開港5港に選ばれたのか、他の港との比較などを通し検証していきます。	新潟大学教育学部 教授 麓 慎一
6	/	「新潟」の食	にいがたの食の歴史を紐解くとともに、「食」を通し新潟の地域性を考えます(郷土料理、発酵食品、米、酒、洋食)。	新潟県立歴史博物館 主任研究員 渡部 浩二
7	/	<公開講座> 新潟の文明開化	明治初期、県庁所在地となったことで新潟は文明開化のモデル地区となる。何がかわり何が残ったか。イザベラ・バードの目に映った新潟にも触れます。	新潟大学人文学部 准教授 堀 健彦
8	/	「柳都」新潟のまちなみ ～堀と暮らす～	新潟市にはかつて多くの堀が張りめぐらされていました。物流の動脈としての堀、そして堀がもたらした文化的側面を概観します。	新潟市歴史博物館 副館長 伊東 祐之
9	/	「新潟」の交通網 ～船から鉄道へ～	舟運から鉄道、そして交通道路。交通網の変遷における、産業や我々のくらしの変化を考えます。	新潟ハイカラ文庫 主催 横木 剛
10	/	これからの港町にいがた	1回～9回を振り返り、開港都市に選ばれた新潟の歴史と魅力から、これからの新潟に伝えていくべきものを考えます。	新潟大学人文学部 教授 原 直史 新潟市歴史博物館 副館長 伊東 祐之

新潟学コース

「開港 150 周年記念 開港都市に選ばれた「新潟」－その歴史と魅力－

1 趣 旨

新潟は函館・横浜・神戸・長崎と共に、安政五カ国条約によって開港地に指定され、明治元年に開港しました。なぜ、新潟は開港5港の一つに選ばれたのでしょうか？本講座では、開港都市に選ばれるに至るまでの新潟、そしてその後の新潟を様々な切り口から検証し、「新潟」を浮き彫りにします。なお、本講座は市民提案講座のご提案内容を一部反映しています。

2 学習方法

前期 講義 後期 ゼミナール 等

3 希望曜日・時間

木 曜日 午後 7 時 ～ 午後 9 時

4 講座コーディネーター

新潟大学人文学部教授 原 直史／新潟市歴史博物館副館長 伊東 祐之

5 プログラム・指導講師

回	月日	テーマ	内 容	講 師
1	6/7	開港前夜 ～江戸時代の新潟～	開港前夜となる江戸時代の新潟はどんな様子だったのでしょうか。私たちの先祖が暮らした「新潟町」へタイムトリップします。	新潟大学人文学部 教授 原 直史
2	6/14	北前船とはどんな船か ～北前船と新潟①～	江戸中期から明治中頃まで、蝦夷地（北海道）と大阪を結ぶ日本海航路に就航し、各地に大きな影響を与えた「北前船」。その概要を学びます。	新潟大学人文学部 教授 原 直史
3	6/21	海が育てた文化 ～北前船と新潟②～	北前船最大の寄港地であった新潟。商品のみならず、北前船によって様々な文化がもたらされました。豪商と料亭文化と花柳界などを概観します。	新潟市歴史博物館 副館長 伊東 祐之
4	6/28	開港地としての新潟 ～国際情勢から考える～	開港地新潟はどのような歴史をたどったのでしょうか。他の開港地と新潟はどこが違うのでしょうか。当時の国際情勢も含めて考えていきます。	新潟大学教育学部 教授 麓 慎一
5	公開 7/5	<公開講座> 新潟の文明開化 ～イザベラ・バードがみた新潟～	明治初期、県庁所在地となったことで新潟は文明開化のモデル地区となります。何が変わり何が残ったのでしょうか。イザベラ・バードの目に映った新潟も素材にしながらかえます。	新潟大学人文学部 准教授 堀 健彦
6	7/12	新潟のまつり ～湊祭から新潟まつりへ～	まつりの歴史をひもとくと、その町の歴史が見えてきます。江戸時代の湊祭から現代の「新潟まつり」まで、まつりの変遷から新潟を見つめ直します。	新潟市歴史博物館 学芸員 渡邊 久美子
7	7/19	新潟の食文化 ～郷土料理から洋食まで～	開港地新潟で洋食はどのように導入されたのでしょうか。食をめぐる新潟の歴史をひもときながら、「食」を通して新潟の地域性を考えます。	新潟県立歴史博物館 主任研究員 渡部 浩二
8	7/26	「柳都」新潟のまちなみ ～堀と暮らす～	新潟市にはかつて多くの堀が張りめぐらされていました。物流の動脈としての堀や、堀がもたらした文化的側面などを概観します。	新潟市歴史博物館 副館長 伊東 祐之
9	8/2	交通網の近代化と新潟 ～船から鉄道へ～	舟運から鉄道、そして高速道路へ。交通網の近代化が新潟の産業や人びとのくらしをどう変えていったのかを考えます。	新潟郷土史研究会 理事 横木 剛
10	8/9	これからの港町にいがた ～未来へつなぐ歴史と文化～	1回～9回を振り返り、開港都市に選ばれた新潟の歴史と魅力から、未来に伝えていくべきものを考えます。	新潟大学人文学部 教授 原 直史 新潟市歴史博物館 副館長 伊東 祐之

後期ゼミナール

後期ゼミナールでは、木曜日夜に港町新潟の史料を読み解くゼミナールを行うほか、土曜などに町歩きツアーを開催します。